

《第1回次世代型物流拠点町名選定委員会 議事録（要旨）》

●日時：令和6年12月2日（月）14時00分～16時00分

●場所：城陽市役所西庁舎 4階 401・402会議室

1. 開会

2. 市挨拶（村田副市長）

3. 委員の紹介（別紙 委員名簿）

4. 次世代型物流拠点町名選定委員会設置要領について

- ・市より次世代型物流拠点町名選定委員会設置要領について説明。

5. 座長の選出について

座長：中川委員

6. 次世代型物流拠点について

- ・市より次世代型物流拠点について説明。

◎意見

委員：町名を募集するにあたっての通知方法は。

事務局：まず、12月15日号の広報じょうようにて、青谷地区のPRをして、市民の皆様
に知ってもらおうと同時に、町名を募集することの予告をする。1月14日から市の
ホームページやSNSにて募集をする。2月1日号の広報じょうようにて、町名募
集のお知らせをする。併せて、城陽市内の小中学校へチラシを配布することを検討
している。

委員：小中学校へのチラシ配布はいつ頃か。

事務局：冬休み明け頃に配布を考えている。

委員：市の施設に募集チラシと応募箱を設置してはどうか。

募集時に町名変更する箇所だけでなく、隣接住所も分かる資料を添付してはどうか。

事務局：市の施設への応募箱の設置について検討したい。

町名変更する箇所だけでなく、周りの住所も分かるように工夫したい。

また、応募方法として今回、ファックス、郵送、Eメール、LoGo フォームを採用す
る。LoGo フォームはQRコードを読み取り応募できるものである。

委員：アウトレットの町名変更は、今回と同様のスキームで決定したのか。

事務局：アウトレットの町名変更は、事業者からの申し出により、議会に提案した。理由と
しては、アウトレットの地権者は開発事業者と電力事業者の2社のみであったこと
と、事業手法が区画整理事業であり、必ず字界の変更が生じ、議会の議決が必要に
なるため、それに合わせて町名の変更を提案して決まった。その際に、幅広く議論
すべきであると意見があったため、今回、幅広く公募し、選定委員会において議論
いただいた町名を議会に提案していきたいと考えている。

アウトレットは一つの区画整理事業の区域内の町名を変更した。今回は区画整理事
業地内だけでなく、物流拠点としての広いエリアにおいて、一つのまちとして新し
い町名を決めたい。

委員：サンフォルテについて、新しい町名として斬新であった。サンフォルテの意味、範
囲を教えてほしい。

事務局：サンフォルテについては町名ではなく、愛称である。区域については、日本郵便か
ら市民プールの辺りまでで、約20ha。町名を変更することについて、先祖代々の

土地であることから、地権者と協議が整わなかった。愛称をつけることについては理解していただき、公募により決定した。

「サン」は明るく地域を照らす太陽、「フォルテ」は前進していく強さを表しており、今後の城陽市の発展をイメージしたもの。

7. 次世代型物流拠点町名募集要項（案）について

・市より次世代型物流拠点町名募集要項（案）について説明。

◎意見

委員：この募集要項（案）だけでは町名募集に対するメッセージが伝わらない。募集要項の頭に文章を入れてはどうか。

事務局：検討する。

委員：次世代型物流拠点を知らない人のために募集時に QR コードや URL をつけて、画像やムービーで説明してはどうか。

事務局：開発事業者とも相談しながら検討する。

委員：この募集要項（案）では愛称募集と誤解を招くのではないか。愛称であれば自由につけられるが、今回は町名を募集するので、誰でも分かるように町名を変えていく趣旨を書くべきである。

事務局：新たな町名に変えていくための募集であることを一言入れる。

事務局：応募資格について、市内在住、在勤、在学の方、次世代型物流拠点について利害関係を有する方とするか、無制限とするか審議していただきたい。

委員：市内在住、在勤、在学の方、次世代型物流拠点について利害関係を有する方が良いと思う。無制限にすると色んな意見が出てきて判断しにくくなる。

委員：利害関係を有する方の確認方法は。

事務局：利害関係を有する理由を応募時に書いていただくことを想定している。事務局としては追及できる範囲で確認したいと考えている。

委員：募集内容には、その旨は書かないのか。

事務局：募集内容に記載していくが、例えば、在勤の方であれば、本当にその会社に勤務されておられるかの確認は難しいと考えている。

委員：無制限にすれば、募集件数は増加するが、非常に興味ある方が、とても良い案を提案してくれる可能性もある。資格を確認する必要もなくなる。

委員：ある程度制限をかける方が現実的であると考え。無制限となると次回の委員会では審査をするのが大変な作業になる。

委員：それであれば城陽市に関心のある方にしてはどうか。

事務局：利害関係については、追及するにも限度がある。最終的に決定された案については、採用者の情報もある程度はオープンになる。

委員：城陽市に関心のある方という条件をつけて募集することをお願いしたい。

事務局：募集内容について、大字のみ募集するか、大字小字を募集するかを審議いただきたい。

委員：アウトレットの令涼つむぎは、令涼が大字で、つむぎが小字か。令涼つむぎ〇番地になるということか。

事務局：そうである。

委員：大字と小字を募集すると、例えば、「青谷青谷」となることもあるのではないか。

委員：大字だけの募集にした方が良いのではないか。全てをひとくくりにして青谷地区であり、出来るだけ枝番もなくシンプルなものがよいと考えている。

委員：青谷という地名の由来は。

事務局：昔、青谷村があり、城陽町に合併する時に青谷村がなくなった。JR 山城青谷駅や青谷小学校はその名残である。青谷の由来は諸説あるが、市辺に栗谷という地名がある。それを文字って青谷となったという説がある。

委員：特に意見がなければ大字のみ募集することで行きたい。

事務局：事務局としては大字のみ募集する場合、小字は1丁目、2丁目としたいがどうか。

委員：青谷地区は次世代型物流拠点として新しくなる。一つ一つの区画も大きい中、1丁目、2丁目とつけることに疑問を感じる。今の換地計画では多くても区画は一桁台である。それならば、大字があって、1番地、2番地の方が分かりやすいと考える。

事務局：区画整理事業地を1丁目、隣の都市計画法第29条の開発地を2丁目とし、地番については各事業者が割り振ることを考えていた。委員会で大字のみ募集することを決めていただいたので、小字については事業者と協議させていただきたい。昔は大字と小字があり、その下に地番があったが、今は小字を設ける必要がない。この委員会では町名をどこまで決めるかの議論であり、委員会として小字はつけず、大字のみにするというのが統一の意見であると思う。

委員：では、大字のみ募集することで行きたい。

事務局：選考方法として、2点ずつ各委員に推薦していただくことで良いか審議いただきたい。

委員：各委員に2点ずつ推薦いただくことで良いと思う。

委員：各委員2点ずつ推薦とすると被ることは減ると思う。1点としたとき、みんなと違っていると寂しい。同じ町名が他の都道府県にあっても問題ないのか。

事務局：法務局に議会で議決を得られれば問題ないこと確認済みである。

委員：各委員2点以内としてはどうか。

委員：一人1点の応募となっている中、同一人物が書いている等、応募に問題がないか市の方でしっかりふるい分けのチェックをしてもらいたい。

選考方法としては、各委員が2点以内ずつ選定し、委員会として1点を市へ提言するという事としたい。

以上より、町名募集にあたり、次のような対応を行うこととなった。

- ・募集要項の文頭に町名募集にあたっての趣旨を入れる。
- ・募集するにあたり、次世代型物流拠点のイメージが出来るように工夫する。
- ・応募資格について、市内在住、在勤、在学の方、城陽市に関心のある方とする。
- ・募集内容について、大字のみ募集する。
- ・選考方法について、各委員に推薦町名を2点以内で選定していただき、委員会として1点を市へ提言していただく。

8. その他報告事項等

- ・市より今後のスケジュールについて改めて説明。

◎意見

委員：採用者の表彰として、同じような町名が採用された場合、全て表彰となるのか。

事務局：抽選で1名とする。

9. 閉会